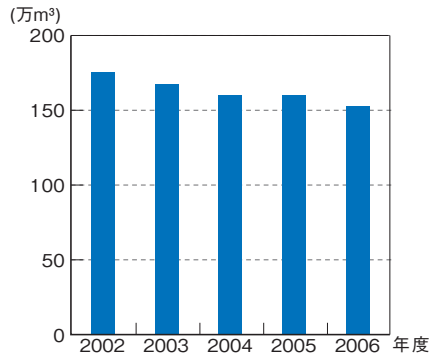


水資源投入量



年間約**150万m³**
=**1人1日130L**
(2Lペットボトル65本)
の水を使用

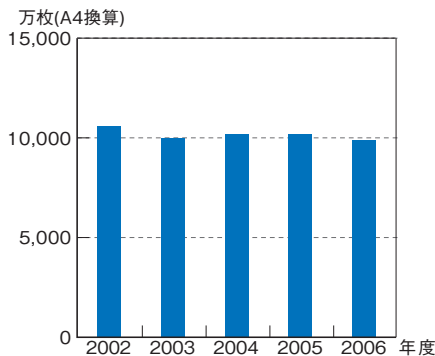
実験機器などの節水が進んだため、減少傾向にあります。今後も、不必要な利用を避け、適切な水資源管理を進めます。

蛇口をこまめに閉める

- 節水効果
4400L/年・人
(全学で年間約14万m³)
- CO₂削減効果
2.5kgCO₂/年・人
- 費用効果
全学で年間約3200万円の節減

※流して一日1分間出っばなしにしていたのをやめた場合

コピー用紙購入量



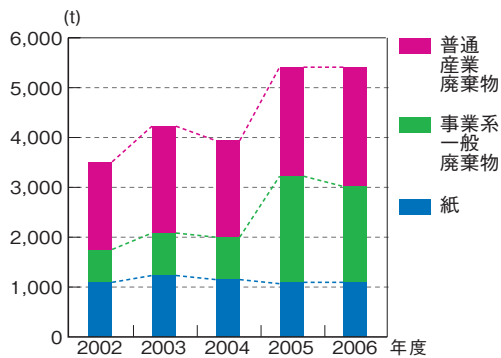
年間約**1億枚** (A4換算)
=**1人年間約3,000枚**
のコピー用紙を使用

近年は横ばい/減少傾向にあります。今後、コピー用紙の使用・処分実態を把握し、使用量の削減を図ります。

両面コピーを心がける

- 省資源効果 (A4換算)
1500枚/年・人
(全学で年間約5000万枚)
- CO₂削減効果
6.6kgCO₂/年・人
- 費用効果
全学で年間約2400万円の節減

生活系廃棄物排出量



年間約**5400トン**
=**1人年間約170kg**
の生活系廃棄物を排出

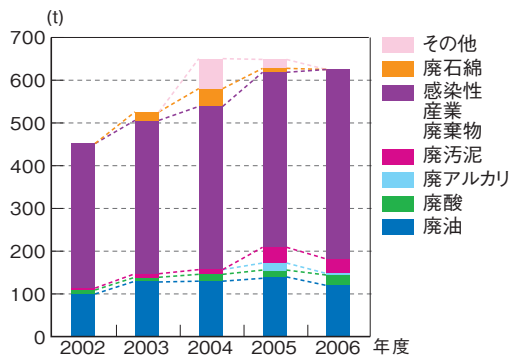
近年は増加傾向にあります。今後、再生可能/枯渇資源に由来する廃棄物に分けて対策を検討します。まずは後者の対策としてレジ袋削減対策を講じます。

レジ袋はもらわない

- ごみ減量効果
3.0kg-ごみ/年・人
(全学で約100トン)
- CO₂削減効果
17kgCO₂/年・人
- 費用効果
全学で年間約340万円の節減

※一日一枚もらっていたのをやめた場合

実験系/特別管理廃棄物排出量



年間約**600トン**
の実験系/特別管理廃棄物を
排出

廃石綿(アスベスト)及びその他は減っていますが、それ以外は横ばいです。今後も「原点処理」「排出者責任」の原則に基づき、安全・適正な処理体制を維持していきます。

NEWS

安全・適正な化学物質管理に向けて
「化学物質管理規程」
ができました！

京都大学においては、様々な化学物質が使用されています。その総合管理規則が全国の教育・研究機関に先駆けて定められました。

※詳しくは、詳細版12ページへ！
<http://www.kyoto-u.ac.jp/kankyo/report07.html>

データの集計範囲

- 対象期間 : 2002年4月~2007年3月
- キャンパス : 特記なき限り吉田(病院含む)、宇治、桂、熊取、犬山、大津の6キャンパス
- 床面積 : 1,039,849m²
- 構成員数 : 32,149人